

# FT核磁気共鳴分光装置（400MHz FT-NMR）

ブルカー・バイオスピン株式会社製

設置場所： バイオナノテクノロジーセンター（片柳研究所棟 地下1階分室2）



磁場の中で原子核に外部からラジオ波を加え、共鳴現象を起こすことで化合物の構造を調べる装置です。DNAや酵素などの生体分子の相互作用や、その機能を調節・阻害する天然物や合成化合物の構造解析に用いられます。

## 装置の特長

- NMRのデジタル化の導入
- 分光計はルーチン・オート測定
- 自己遮蔽型超伝導磁石（漏洩磁場：水平方向 1.0m 未満、垂直方向：1.5m 未満）

## 測定範囲

- 測定核種  $^1\text{H}$ 核および $^{15}\text{N}$ ~ $^{31}\text{P}$ 核
- 高周波系 出力； $^1\text{H}$ ：50W、X核：150W